



「2022年度がスタート」



4月6日(水)、春休みを終えた校庭に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。朝から爽やかに晴れ渡り、この日は運動場で2～6年生での始業式を行いました。まだまだコロナの収束が見えない中でのスタートとなりましたが、今後も感染状況を見ながら、感染予防を徹底するとともに、できる限り子どもたちの学びや体験的な活動を止めることなく、そのつど最善の形で最大限に、教育活動を進めていきたいと考えます。

第46回 入学式

4月7日(木)、第46回入学式を挙行了いたしました。令和4年度は82名の新生が入学し、この三和小学校の門を元気いっぱいにくぐりました。少し緊張した様子でしたが、しっかりと入学式に臨んでいました。

PTA会長、前河良邦様のご祝辞の中で、「三つの魔法の言葉」のお話がありました。何かをしてもらったときには「ありがとう」。何かをしてしまったときには「ごめんね」。その言葉に対して「いいよ」と言って返すこと。その三つの魔法の言葉があれば、どんな時でもみんなと仲良く力を合わせて、いろんなことに挑戦していける、というお話でした。

まさに、他者を尊重し、協働することの大切さを、一年生の子どもたちに理解できる言葉で伝えていただいたと感じました。みんな静かにしっかりと聴いていました。



入学式 学校長式辞(一部抜粋)

小学校一年生となったみなさんに、二つのお話をします。

一つ目は、「相談する」ということです。毎日の学校生活や授業の中で、わからないことや困ったことがあったら、一人で悩んでいないで、すぐに担任の先生に相談してください。近くに担任の先生がいないときは他の先生方を頼ってください。先生方はみなさんが困っていることをしっかりと聞いて、どうしたらいいのかわかってくれます。また、先生方だけではなく、わからないことは近くにいる友達にききましょう。きかれたお友達は、やさしく教えてあげてください。そうやって、みんなで助け合い、支え合いながら毎日を過ごしてください。

二つ目は、「命」のお話です。皆さん一人ひとりの「命」は、お父さんお母さん、そして、そのお父さんお母さんである、おじいさんおばあさん、そのまたお父さんお母さんである、ひいおじいさんひいおばあさん・・・というふうに、ずーっとずーっと昔からつながって今ここにいることと同じく、とてもとても大切なものです。周りにいるすべての人の命が大切であることを同じく、自分の命も大切です。自分の命は自分で守ります。上級生のお兄さんやお姉さんの言うことを聞いて安全に学校の行き帰りをしたり、行き帰りだけでなく、道を歩いたり自転車に乗ったりしたときにも、交通のきまりを守って、安全に過ごしてほしいと思います。

保護者の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。大切に育ててこられたお子様を本日から確かにお預かりいたします。先ほどお話いたしましたように、人とのつながりを大切に、安全・安心な学校生活を第一とし、お子様一人一人の可能性を最大限に伸ばすよう、本校職員一同、全力で取り組んでまいります。

現在、社会のありようは急激に多様化、複雑化しています。保護者の皆様が経験しなかったことを、この子たちは経験していくことになるでしょう。また、この子ども達が成長して、社会に出る頃には、その社会は今とはかなり違うものになっていることが想像できます。

そんな予測困難な未来の社会を担う資質として、最も求められているのは「人と人との関係を築いていく力」だと言われています。学校という場で集団生活を通して、これから子ども達は、楽しいことと同時に失敗もしながら、ときにはつらい思いをしながら、いろんな経験を乗り越えて、多くのことを学び、成長していかれるでしょう。

そのために学校と保護者の皆様とが心を合わせて、さらには地域の方々とも、信頼のもとで関わっていくことが、お子様の健やかな成長につながると考えます。

令和四年四月七日

香芝市立三和小学校長 増田尚弘



●連絡

今後、学校通信「みつわっ子」は、学校のホームページにも掲載する予定ですが、使用する画像については、解像度を下げて添付し、拡大して見ても個人が特定されないように配慮しています。